



学校教育目標：『地域のよさをいかし、夢をもち、未来を担う学校づくり』

めざす子ども像：ひとみ・こころ・いのち かがやく北明っ子

9月になり、強力な台風が2つやってきました。それぞれの家庭で被害はなかったでしょうか。とても心配していましたが、学校の被害はほとんどなくほっとしたところです。

2学期のめあて ～自分でできることが、ふえたらいいな～

始業式で、2学期のめあてについて、お話をしました。



2学期のめあて： **できることを ふやそう**

このめあては、子どもたちが自分の成長や伸びを自覚し、自信を持ってもらいたいという願いからです。2学期末に振り返りをしたとき、

- ・音読がすらすらできるようになった。 ・計算がはやくできるようになった。
- ・自分の寝るふとんを自分でしくようになった。 ・一輪車に乗れるようになった。
- ・自分で決めた風呂掃除の手伝いを続けられた。 ・自分で起きるようになった。
- ・相手の目を見て、話を聞けるようになった。 ・読書をよくするようになった。
- ・学級の仕事や委員会の役割などをきちんと果たすようになった。
- ・自分でその日の計画を立てて、生活できるようになった。

以上のようなことが、子どもたちから、たくさん出てくるといいなと思います。

「できることをふやす」ポイントは、以下の3つです。

- ① **自分でしっかり考える。**
- ② **自分で決める(判断する)。**
- ③ **自分で実行する(行動する)。**

本来、子どもたちは「自分でできることは自分でやりたい」という気持ちを持っています。その気持ちを大切にしながら大人が上手くサポートして、子どもたちの自立心を養っていきたいものです。

それぞれの家庭で、子どもをその気にさせる言葉かけや支援の在り方を考えてみてください。

「たてわりそうじ」が始まりました

9月10日より、各学級ごとのそうじから、たてわりグループでのそうじに変わりました。

「たてわりそうじ」は、【高学年の計画立案力やリーダー性を養い、下級生が上級生の掃除の仕方を見習って異学年で協力して掃除を行うことで、全校児童の一体感を高め、より一層学校を美しくしようとする心を育てる】ことがねらいです。



6年生は「たてわりそうじ」がうまくスタートできるように、事前に学級で話し合いを持ち計画を立ててくれました。また、ボランティア委員会の5・6年生は、「びかびか北明っ子そうじ集会」で、①「たてわりそうじ」の3つの目的、②身につけたい「5つの心」と「そうじ作法」、③9月の目標「たてわりチームで協力して、そうじをがんばろう。」の3つを分かりやすく堂々と発表してくれました。



<話し合う6年生>

<ボランティア委員会発表>

<たてわりそうじの様子>

「たてわりそうじ」の様子を見て回ると、異学年で協力し無言で一生懸命にそうじをする姿は、気持ちがよいものです。少し緊張した中にも、子どもたちのやる気を感じます。この「たてわりそうじ」が北明っ子の自慢になったらいいなと思っています。

行事や授業の様子紹介

雑巾の寄贈(8/25)



有明干拓老人会様より、今年も「手縫いの雑巾」を寄贈いただきました。学校の美化活動に役立てたいと思っています。ありがとうございました。

と思っています。ありがとうございました。

4年生レンコン収穫体験(9/4)



白石町学校食育推進事業の一環で、レンコン収穫体験が行われました。白石青年実業家の方々の指導の下、はじめてレンコン田に入った子どもたちは、歓声をあげ、その感触を楽しんでいました。大きなレンコンを掘りあげ笑顔があふれていました。

3年生鳩笛絵付け体験(9/9)



児童のおじいちゃんで武雄市在住の江口様の指導により、鳩笛の絵付け体験が行われました。どの子も熱心に取り組み、1時間で立派な鳩笛が完成しました。

5年生ヘリコプターによる農薬散布見学(9/10)



学校前の実習田で、ヘリコプターによる農薬散布をしてもらいました。子どもたちは真剣に見入っていました。

